

平成28年度 会派調査研究報告書

(視察先1箇所につき1枚)

会 派 名	萋真クラブ
出 席 者	宮川文憲・田原一孝・高添秀明・内藤正之・浅川裕康
事 業 名	国会・首相官邸・最高裁判所の施設等の調査
事 業 区 分	①研究研修 ②調査

1 萋崎市での課題と研修・調査の目的

国会における委員会の開催状況・首相官邸の施設・最高裁判所の施設の状況とそれぞれの業務内容の研修・調査。

2 実施概要

実 施 日 時	視察先	東京都内の各施設
平成29年 2月 9日(木) 午前11:00～午後4:00	担当部局	各施設の案内者
報 告 内 容	<p>内容</p> <p>国会の衆議院本会議場の見学 衆議院予算委員会の傍聴 首相官邸の施設見学 最高裁判所の小法廷及び大法廷の見学</p> <p>視察状況</p> <p>全体的に各施設(特に首相官邸)はセキュリティが厳しかった。 また、最高裁判所は視察時間に厳しく、決められた入場時間や視察時間が厳格であった。</p> <p>衆議院の予算委員会の傍聴者は中高年層の女性が多かった。 また、傍聴席は報道機関が席を埋め、関心の高さがうかがわれた。 なお、傍聴席には小さな机が備え付けられており、メモ等を取ることができた。</p> <p>最高裁判所は、小法廷が3室あり年間約11,000～12,000件を処理しているが、そのうち大法廷まで移されるのは、憲法判断や過去の判例の変更等、年間5件位とのである。また、施設も重厚で威厳を醸し出していた。</p> <p>各施設で多数の質問を行ったが、それぞれ、明解な答えをいただいた。</p> <p>例 問 最高裁判官の年齢制限40歳以上を下げる考えは 答 現在は無い</p>	

2 考察（これらの取り組みを蕪崎市にどう活かせるか）

- ・衆議院の予算委員会では、南スーダンへの自衛隊の駆けつけ警護に関して、白熱した質疑応答が交わされていて、市議会の委員会審査に参考になった。
- ・市議会の傍聴者の利便性を高めるために、手話通訳や今後議場を整備する時に、採決結果の表示システムの導入また、表示施設設置も必要と思った。
- ・本市の傍聴者の中には拍手をした人もいたので、議会運営に係り厳しい対応をすることの必要性も感じた。
- ・今後も、国の機関だけでなく、県や他市町村の施設等の状況について調査研究を行っていくことの必要性を感じた。

最高裁判所大法廷にて



感想（まとめ）・市政に活かせること